

第1回 市立特別支援学校検討委員会

- 日 時：平成23年10月19日 午後7時から
- 場 所：魚沼サンティックスクール
- 出席委員：22名
- 事務局：南雲教育部長 隅谷学校教育課長 内山指導主事 大塚主幹
中澤塩沢給食センター長 渡辺障がい福祉係長 金井主事 野澤設計士

議 事

○開会

課長 第1回目の市立特別支援学校設置にかかる検討委員会を始めさせていただきます。小出特別支援学校の先生方、保護者の皆様、市内の特別支援に関わる方々からお集まりいただいた。平成25年4月開校に向けて色々な課題を解決していきたいのでよろしくお願いします。

○改築案図面説明

設計士 まず図面1枚目左下管理棟1階から説明します。新しくする部分は入口から入ってすぐエレベーターをつける。玄関風除室の内側は自動ドアだが外側が手動なのでそちらも自動に換える。今の間仕切りはほとんど変えないで使っていきたい。廊下の幅は広くしないといけないので、会議室側を削って広くする。トイレはすべて洋式です。次に左上管理棟2階について、間仕切りは変えていません。2階のトイレもすべて洋式です。障がい者用トイレについて1階には現状あるのでそのまま、2階については設置する予定はしておりません。理由としては、2階の教室については使用頻度がそれほど高くないということで、エレベーターを使って1階のトイレを使っただくという考えです。体育館を新築するということで、図面の左側から体育館に行く予定にはしますが、体育館のことがはっきり決まるまでは未定ということにしてあります。

管理棟1階から教室棟2階につながるようになっています。教室棟に関しては図面の2枚目以降にあります。1階に関して新しくするところは、玄関に車寄せを設置しスロープで入っていただくようにしています。機械室、小学部3,4年の教室より右側は増築部分となっています。個別指導室の右にあるスロープと書いてある部分が給食受け入れ場所になっています。廊下の右側突き当たり部分は、災害時にスロープを使って外に出れるようになっています。1~3階に共通して、トイレはすべて洋式でウォシュレット対応、その他に障がい者用トイレとなっています。1階は男女併用になっています。その右にエレベーターを設置し

ます。この位置が一番支障が無い位置だと思います。次のページ 2 階に行きます。左上に管理棟への渡り廊下がありますが、既存の渡り廊下を剥いで、渡り廊下のほかにスロープで移動できるようにしてあります。現在この計画ですが位置を変えたり階段の幅を変えたりする可能性があります。中作業室、個別指導室の右側は増築部分です。廊下の幅について両側に居室がある場合 2m30cm とらなければならないので、現在の幅よりも 50cm 広く設計しています。次のページ 3 階ですが、増築部分は 2 階までになっておりまして、3 階部分はありません。廊下の幅については 2 階と同じです。

部長 補足説明を 2 点。廊下の幅を広げました。現状の幅でもいけないことは無いのですが車いすが常時通ることを考え余裕を持って 50cm 広げることになりました。階段の蹴上の間隔について、小学生も入るのでそれにあわせて低くしました。大きな工事になりますが、思い切ってやりたいと思います。

課長 質問は最後にまとめてお受けしますので、続いて体育館について説明をします。

大塚 体育館について説明いたします。

設計士 南魚沼市職業訓練共同施設概要図という資料の左側、魚沼サンティックスクール 1 号館 2 階という部分を見てください。ここの縦長の校舎部分は鉄筋コンクリートで作られています。一方、礼法室、ステージ、実習室とある横長の部分は鉄骨で作られています。二棟とも昭和 40 年代後半の古い建物で、今回耐震診断ということで設計事務所に耐震性があるかどうか診断をお願いしてあります。その中で礼法室、ステージ、実習室の鉄骨部分の事前調査の段階で補強できないということになっております。そこで、鉄骨部分を取り壊してきちんとした体育館として建築しなければならないという方向で進んでいます。敷地の広さを考えると新しい体育館の大きさは、長手方向で 30m 程度、短手方向 15m 程度になるのではないかと想定しています。新しい五十沢小学校の体育館より一回り小さい体育館になりそうです。体育館の部分については今後設計事務所において具体的な設計に入るといった予定をしておりますので、また設計が始まった段階で皆さんと相談しながら設計を進めて行くことになるかと今のところ考えています。

部長 若干補足説明をします。現状の実習室部分よりかなり大きくなります。天井高も体育館並みに高くできます。バリアフリーについては、2 階建を考えていますので下の建物の 2 階から渡り廊下でアリーナ等へは入れるように、1 階については職業訓練センターの実習室も作らなければならないのでそれを入れながら、まだ決まったわけではないですが、日中一時支援の部屋のスペースを生み出していきたいと考えています。設計事務所が決まり次第検討していきます。

課長 スクールバスについて説明いたします。グラウンドやプールへの送迎にスクールバスを運行していく予定です。市内外の教育活動にも活用していけるのではないかと考えています。車いす対応のもので 50 人、29 人、10 人乗りのものの中で実態に合って利便性が高い組み合わせで購入していければと考えています。現在湯沢方面から小出特別支援学校へ送迎バスが 17 号ルートと 291 号ルートで出ています。今度は市立なので、朝晩の送迎バスを市のほうが運行しなければと考えています。その場合、位置が湯沢と大和の間ですので、湯沢方面から 2 ルート、大和方面から 2 ルートの 4 ルートになるかと考えています。通われる皆さんの都合等で若干の変更はあるかと思いますが基本的にはこの方向で考えています。

塩沢給食センター長 給食について説明いたします。平成 25 年 4 月で最大で 100 食という計画が出ております。生徒児童で 60 食強、教職員等で 30 食強。塩沢給食センターで調理したものを今使っている車で運ぶ予定にしております。重複の生徒児童向けにペースト状にしたり細かくしたりするのを現在は小出特別支援学校の先生が行っているということですが、県内の市町村では給食センターで行っているところもあります。それを考えると当市でも給食センターで行っていくことも考えなければならないのですが、そこについてもこの会議で話し合っていたいただきたいと思います。

部長 ディスポートについて、保護者の皆様と議論したのですがここを使っていきたいと考えています。メリットとしては、通年使える温水プールであるということや先生方が水質管理や掃除をする必要が無いということが挙げられます。ディスポートを改修も含めて、保護者や先生方にどういう改修をすればいいかを聞いて協議していきたいと考えています。

福祉係長 日中一時支援について、放課後はもちろん土日や夏休み、特別支援学級に通っている方も受け入れしたいと要望していたので、体育館の下ということだが学校の教室から離れていたほうがかえっていいのかなという気もしています。現在どの程度の需要があるのかわからないということでアンケートを配っています。その結果を見て、どの程度の日中一時支援をしたらいいかを検討したいと思います。

内山 中身の準備についてお話しします。学校として形を成すために学校名から始まり、校章、校歌等の準備が欠かせません。他に事務的に必要な帳簿の他、教材教具の準備もあります。また学校管理運営関係で学校管理規則や職員の服務規定、防災計画等の諸規定が必要になります。次に教育課程。教育目標から始まり、年間計画や各学務の重点目標などが出てきます。それと生徒指導や保健関係、給食、PTA の準備等が必要になります。通学バスや高等部の入試関係も必要になってきます。来年度の春から担当の職員をつけて重点的に取り組んでいきます。その時には、小出特別支援学校の先生からもご協力いただくこ

とになると思います。春からすぐに動かなければならないところは学校の説明会です。そのためにはどんな教育内容かということが重要になってくるわけですが教育内容の細かいところは来年の春からになりますので、4月の段階の学校説明会ではどんな学校なのかということイメージできる程度の内容でしかありませんが、それを今年度中から取りかかっていきます。これが今想定される必要な準備ということでお知らせしておきます。

それと図面の補足ですが、何年生の教室がどこだといったことは考えずに、普通教室の数は足りているのか、重複学級の数は足りているのか、作業室は足りているのかといったことを重点的に見てほしいと思います。また、靴を履き替える場所が無いということに気付いた方がいらっしゃるかと思いますが、履き替え無しの土足を考えています。というのも職業訓練センターとの共用部分があるので、子どもたちは内履きで職業訓練センターの生徒は外履きとなるものおかしな話になるためです。そして特別支援学校の生徒用玄関は教室棟、管理棟の玄関は職員玄関や職業訓練センターの玄関として考えています。

課長 ざっと説明しましたが、現地見学をした後に質問を受けたいと思います。

○現地見学

略

○質疑応答

委員 機械室が非常に大きな場所をとっているが、もったいない。空調のためなら個別空調にする等、機械室をあけて有効利用してほしい。

設計士 中の調査はまだしていないのではっきりしたことは言えないが、個別空調にできるならしたい。ただ、壁を破る等は勘弁していただきたい。これからの調査のうえ検討させていただきたい。

委員 各階に水飲み場、手洗い場がトイレにしかないのが気になった。小出特別支援学校には教室にもある。図書室になる場所が区切られて狭くなるのがもったいなく感じる。区切らないでゆったりとしたスペースにしてほしい。プレイルームが狭く感じる。視聴覚室のところを多目的スペース、プレイルームとして使えればと感じた。渡り廊下をまっすぐ行くようにできないか。

内山 図面の教室に変化するしがあるが、それが手洗い場になっている。プレイルームはたしかに狭いが、とりあえずプレイルームという名前にしているだけなので、いい活用方法があれば考えたい。図書室はおっしゃる通りで、完全に仕切るのではなく壁を簡単な移動できる間仕切りにしたいと思っている。サロンのようにできればと考えている。

設計士 渡り廊下については、まっすぐ繋げると勾配が急すぎてだめ。そこで図面のように距離をとって勾配をゆるやかにした。エレベーターも考えたが、高さに差が足りなくて設置できない。その結果図面のようにになったが、良い方法があれば変更したい。

委員 踊り場を作って折り返すのはどうか。

設計士 そうするとかなり遠くまでもっていかないといけないのでこうなった。

委員 玄関について、土足ということだが冬は長靴になる。スパイクがついているようなものがあるがそのままでいいのか。

委員 関連して、玄関が狭い。個別指導室を削って広い玄関で迎えたい。

設計士 構造上のチェックをしてみないと正確には答えられないが、おそらく壁を取るとは可能だと思う。

内山 土足のほうがいいのかと思ったが、広い玄関はたしかに魅力的だしそれが実現できるなら内履きに履き替えても良いと思う。

委員 玄関は今まで通りの管理棟正面でもいいのではないかと思う。エレベーターも渡り廊下のスロープもあることだし。

部長 考え方として、重複の生徒児童を中心に考えたかった。重複の子が玄関から入って渡り廊下を通りエレベーターで下がって教室へというのはなかなか大変だと考えて教室棟のほうに玄関をつけた。

委員 ありがたい考えだが、現在小出特別支援学校でも重複学級は奥のほうにある。

部長 ただ、考えの出発点は小出特別支援学校を基準に物を考えないようにというのがあった。我々の考え方では重複の教室を一番動きやすいところにと考えたが、皆さんがそうではないというなら変えることも可能。

委員 とてもありがたいしその感覚もいいが、教務室との関係で防犯上のこともあるし入口は一つでもいいのかなど。

部長 いろんな可能性を考えてもらって、皆さんのいいようにしたい。

委員 重複のこどもたちの部屋を通過して移動する動線がいいと思う。玄関が上のほうにいくと、下のほうに追いやられているわけじゃないが、誰もこなくなってしまう気がする。プレイルームのところを玄関にできないか。

設計士 できる。個別指導室と玄関スペースを一緒にして一つの部屋にし、プレイルームに玄関をつけられればいい。ただ、プレイルームは小さくなる。

委員 玄関をつぶしたところにシャワー室をつけられないか。

内山 シャワー室はぜひつくりたい。

委員 シャワー室だが、トイレのところにつけるのは難しいか。小出特別支援学校ではトイレのところについている。排泄に失敗した子どもたちがシャワー室ですぐ洗うにはトイレにすぐ近いところがあると便利だ。

設計士 シャワーは一つでいいのか。

委員 一つでいい。身体障がい者用トイレの奥あたりにあるといい。

委員 オストメイト用トイレに体を洗うスペースがさらにあれば身体障がい者用のところはそれで解決するのでは。仕切りが必要であればカーテンやパーティション等で使い分けということでもいいのではないか。

設計士 男女併用でいいわけですね。

委員 オストメイト用トイレについてはそう。シャワーはまた別にとということ。

設計士 併用トイレのところが廊下の前までスペースがあるのでそこまで広くすることができる。そうして対応するか、シャワー室は別にするか、どうするのがいいのか。

委員 シャワーとトイレは一緒のほうがいい。

設計士 併用トイレの中にシャワーのスペースを入れて、中で仕切りをつけるという考え方で提案してみる。

委員 車いすが入るだけのスペースが確保できるか。職員も入って動きも取れてなおかつ

今のスペースが使えるならそれでもいいと思うが。

設計士 現在は正面に便器があるようになっているが、向きを変える等工夫して対応できると思う。

委員 シャワー室について、そのスペースを日中一時支援事業所として使っていいのか。

内山 体育館の日中一時支援の近くのトイレに同じものを作ってもらうほうが便利なのではないか。

委員 そうであれば最高だ。

委員 教室棟の2, 3階の女子トイレが一つしかないが足りるのだろうか。2階3階は併用トイレをそれほど使うことは無い気がするので、男女併用にしてその分女子トイレに割いたほうがいいのか。

部長 これはうちのほうで次回までに調べてみなさんの意見を聞いて数の確定をする。

設計士 2, 3階に併用トイレがいないというのであればそれで確定するかどうか。

委員 私の考えでは重複学級というものが分かれて存在すること自体が不自然で、将来的に通常学級と一緒にした時を考えるとどの階にも併用トイレはあるべき。

委員 職員室について、30人の職員が入るには狭い。今の事務室あたりを第二職員室にするというのもいいかなと。増築する部分を3階まで作ってもらえばさらにスペースがふえるのだが。できないものだろうか。

委員 図面の高等部1年の教室は現在の和室、洋室を残して3階のスラブの部分におけば活用がうまくいくように感じるのだが。

設計士 構造基準の関係で、確認申請が下りてくるまでの日数の関係もあり2階まででお願いできないかということで図面ようになった。

委員 就労支援を考えた場合、湯沢を含めてホテル旅館業への就労も考えられるので現状の和室洋室をなくすのはもったいないと感じた。

委員 プレイルームについて、重複学級の生徒も利用することを考えると天井からの釣具ができるようなアンカーが設置できるとありがたいのだが。それと図書館について、どの程度の図書量を考えているのか。それによって壁に並べてしまえばすむ量ならさっき話に出た移動式のパーティションでいいし、もっと大量ならしっかりした図書室がいいだろう。

設計士 固定のアンカーなら可能だろうと思う。

委員 もしもの時教室棟の3階から逃げるとしたら階段かエレベーターになると思うのだが、スラブのあたりから避難用の階段があればと思う。

設計士 避難用の階段はつけられるが、車いす対応のものまでは無理があると思う。

委員 そこまでは望んでいないから大丈夫。職員がおぶって降りれる程度に安全なものがあればいい。

設計士 対応はできると思う。

部長 検討するが、予算的な面でだめな場合もある。

委員 給食指導の部分は入っていないのだが、学校が給食指導を担うとなった場合重複学級に腰に負担のかからない広い洗い場がほしい。また日中一時支援についていつ頃までに見通しを示してもらえるのか、この会の方向、段取りも含め今後の計画をいつ頃示してもらえるのか、教えてもらいたい。

部長 日中一時支援については、現在要望を取りまとめている状況なので今のところやる方向だが、意見がまとまり、設計事務所が決まったら協議しながら検討していく。

委員 ある程度大枠のこのようなサービスを提供できる、という見通しを何月ぐらいに見せてくれるのか。

福祉係長 アンケートの結果と施設的にどの程度日中一時支援に割いてくれるのかがわからないと答えられない。

内山 アンケートの結果は11月中には集まる。

部長 施設のほうは、設計事務所が決まるのが年内でそこから設計スタートなので、年度

内になんとか設計をあげて、新年度には工事を始めたい。

委員 年内にサービス内容の大枠が見えるか。

部長 年内には見えない。設計が決まらない。

内山 日中一時支援にしてもスクールバスにしても3月ごろではないかと思う。

委員 こちらの学校にくるかどうかが保護者が判断するうえで非常に重要な点だ。

部長 県立では通学バスを出さないが市立では出す。大きな違いで貧弱な対応というわけではない。

委員 通学バスは現在では重複の子は使えないと思ったが。

部長 使えない。そこをどうするか。重複の生徒はでバスが必要なのは何人くらいいるのか。

委員 個人的なことを言うと、朝の日中一時支援が必要だ。朝早くからやってもらえるならバスに乗れなくても大丈夫。バスに重複が乗れるというのならそのように対応する。どうなるかがわからないと判断ができない。

内山 今考えているのは、朝の要望が多ければ朝の日中一時支援も行います。通学バスの重複の方については、人数が数人だと思われしますのでバス何台かのうちに数人分の車いすが乗れるバスを用意する。ただし、人数をオーバーしたら遠方の方を優先する。近い方はご家庭での送り迎えをお願いする。今言えるのはここまで。

福祉係長 要望が多ければまきはたの里でもできるということだが、少ないと難しいとのこと。

まきはたの里 朝の預かりサービスは検討できると思う。ただ、来てもらう分にはいいが送迎までとなると人手が足りない。まきはたの里を使っている保護者さんの中には数多く見てくれという意見が多かった。が、送迎と数多く見てほしいという要望は背反している。移動に関する部会も開かれている。乗合タクシーのような、何か良い仕組みが作れればと思う。

委員 この会の運営も含めて、平成 24 年 4 月 1 日までの流れを見たい。

部長 まずこの会での打合せを 3 回ほどみていたが頻繁にやりたい。できれば 11 月になったら実施設計に入れるように。それに基づいて月に 1 回程度集まって打ち合わせを行い、今年度設計をあげて、新年度になったら工事を発注して、さきほど内山先生の説明した準備を行い平成 25 年のオープンを迎える、という予定になっている。

では、次回からの会議だが設計事務所の設計に合わせていきたい。

設計士 増築部分の階数や渡り廊下のプランによって決まってくる。

委員 小中の重複学級が一つの教室を使うことになっているが、できれば分けたい。

内山 小中のほうが広めの教室を取ってありますし、人数も多くないと思いますのでこうなっている。

委員 建物の裏側に将来のグラウンドができるのではないかと思うので、そちらに出られる出入り口を作るべき。電気室をとっばらって出入り口を作ってほしい。

部長 将来まだどうなるかわからないところでなんでもかんでも手を広げるわけにもいかない。

課長 グラウンドはまだどこにできるか決まったわけではない。決まった段階で改築するのがいいと思う。

設計士 今やらなくても、グラウンドが決まってからでもできる。

課長 では次回の日程を。

部長 10 月 31 日にまたここで。

○次回日程

日 時：10 月 31 日（月曜日）19：00～

場 所：魚沼サンティックスクール

○閉会（21:45）